



学校長だより

No. 6 (平成 28 年 10 月 13 日)



今年度もあと半分となりました！

10 月に入り今年度も後半に突入です。今月は神無月とも言われ、俗説として神々が島根の出雲に集まるためだということを一度は聞いたことがあると思います。今年の中国四国地区 P T A 大会を開催した島根県の保護者の方にお聞きしたところ、神々が集まる出雲島根の 10 月のカレンダーはやはり「神有(在)月」となっているそうです。さて、運動や学習にはもってこいのいい季節となってきました。10 月と言えば東京オリンピックの開会式が行われた 10 日（以前は体育の日）がまず思い浮かびますよね。10 月 10 日はその他にも、「目の愛護デー」「銭湯の日」「転倒防止の日」「トマトの日」「お好み焼きの日」などなど、シンボル化や語呂(1010、ジュージュなど)に引っ掛けて、いろいろな記念日とされているようです。さあ、10 月から学校では文化的な行事が多くなります。日ごろの学習の成果を保護者の皆さまにご覧いただく機会もありますので、ご支援・ご協力をお願いします。



秋の運動会・文化祭たけなわ

運動会や文化祭たけなわの本格的な秋が来ました。10 月 8 日(土)は国立高知病院つくし大運動会、10 月 9 日(日)は土佐希望の家祭がそれぞれ併設の病棟・施設との連携・協力のもと開催され、分校のみなさんも、たくさんの先輩方や入所されている方と一緒に楽しいひとときを過ごしました。出し物には Dr や看護師さん、施設の職員の方のパフォーマンスもあり、大いに盛り上がりました。11 月になると、5 日に子鹿園分校、26 日に土佐希望の家分校の学習発表会、本校では 12 日に 2 年に 1 度の学園祭が開催されます。学園祭では模擬店などもありますので、たくさんの方のご来校をお待ちしています。

まだまだ続く快挙の嵐

今なお日中は暑い日が多く、先日は台風 18 号が日本列島を襲いましたが、幸いなことに本県に大きな被害はありませんでした。台風の嵐はもう勘弁願いたいところですが、快挙の嵐はいつまでも続いてほしいものです。このたび第 8 回家族愛作文コンクールに応募した本校中学部 1 年生の竹村萌さんの作品が「高知県小中学校長会賞」を受賞しました。この賞は応募作品 5,720 点の第 4 席(第 4 位)に相当します。また、本校高等部の松尾美咲さんが、全国障害者スポーツ大会(岩手大会)陸上競技に高知県代表として選出されました。練習の成果を発揮し、きっと活躍してくれることでしょう。



本校・分校の保護者の皆さまへお願い！

以前お知らせしましたとおり、平成 29 年度は、中国四国地区肢体不自由特別支援学校 P T A 連合会総会及び P T A・校長会合同研究会の開催当番県となっています。

6 月 1 日(木)～2 日(金)の 2 日間の運営、そして開催までの準備について、本校・分校の教職員と保護者が一丸となって、取り組んでいかなくてはなりません。

主に本校の方が準備等を進めてまいります。6 月の本会当日の 2 日間は、学校は平常授業を行っているため、教職員はほとんど参画することができません。したがって、保護者の皆さまの積極的なご参加ご協力をお願い申し上げます。今年度の島根大会では、約 50 名の保護者の方が会の運営に当たり、会場までの案内、受付、進行、分科会の司会、記録、情報交換会などの業務を分担して携わっておられました。県外からのゲストは 65 名程度で、来賓の方を合わせると 70 名を超える総会・研究会となります。「高知県は、ひとつの大家族やき」でお馴染み「高知家」のスローガンのもと、中四国の皆さまを心から精一杯のおもてなしをしたいと思います。近日中に、ご協力いただける方の人数を把握するためのアンケート調査を行いますので、併せてよろしく願いいたします。

